

## 7. 県民の国際化意識

### (1) 地域の国際化の必要性

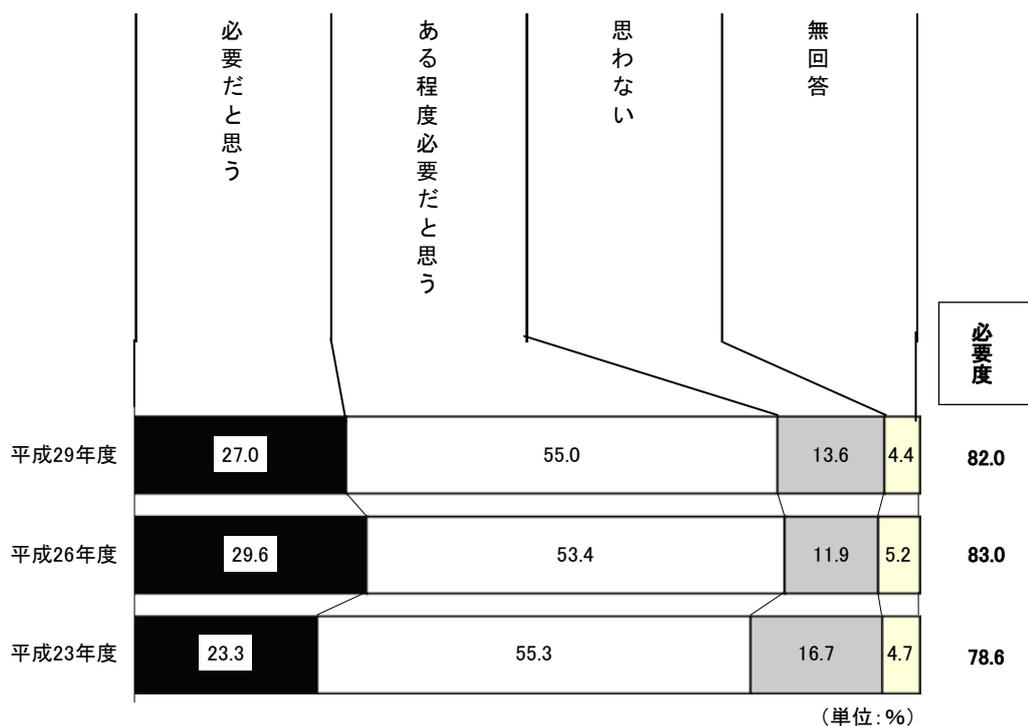
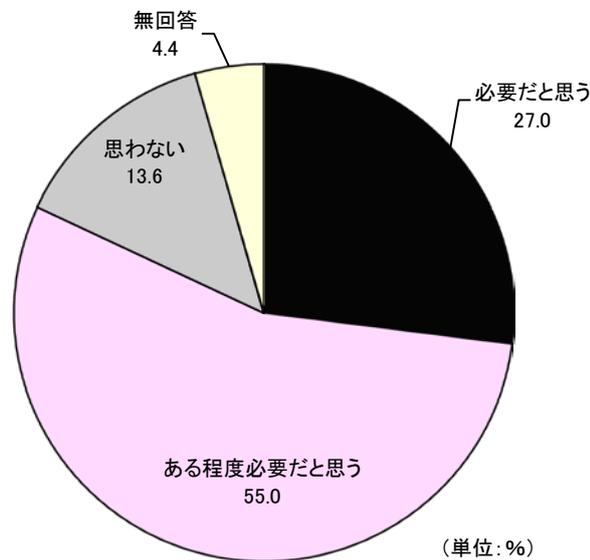
問 22 地域の活力向上のために、地域の国際化が必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

地域の国際化・・・日本人だけでなく外国人(外国籍県民)も安心して暮らし活躍できる社会

### 8割が地域の国際化が「必要」と回答

地域の国際化の必要性について、「必要だと思う」と回答した人が 27.0%、「ある程度必要だと思う」(55.0%)を併せた「必要度」は 82.0%である。

前回調査と比較すると、「必要度」に大きな差はない。



〈属性による比較〉

【生活圏別】

「必要度」の割合は広島地方生活圏(83.3%)と備北地方生活圏(84.8%)は8割を超え高く、備後地方生活圏(78.3%)に比べて5.0ポイント以上上回っている。

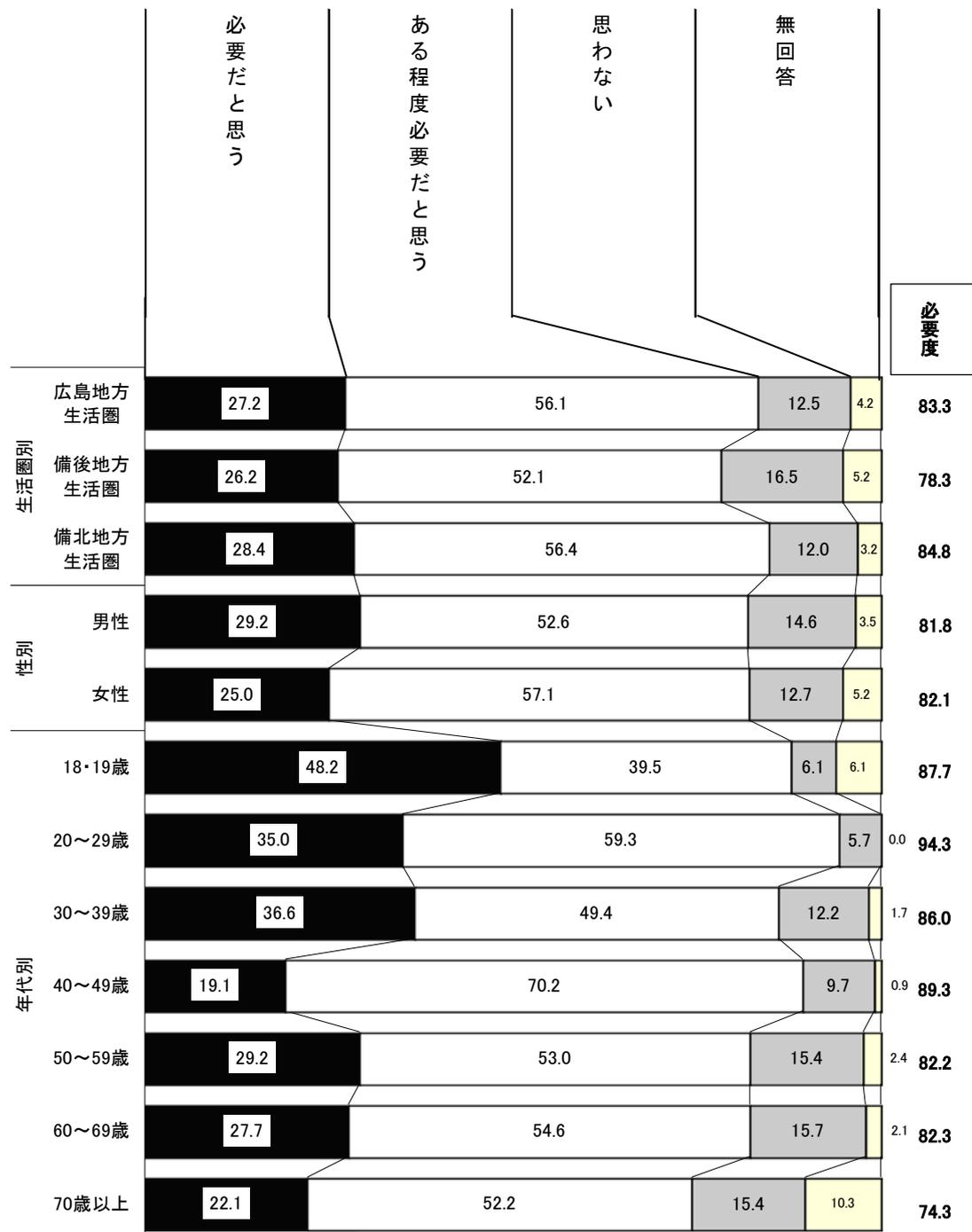
【性別】

男女共に「必要度」の割合が8割を超えており、明確な差が見られない。

【年代別】

60歳代以下の「必要度」の割合は8割を超えている。中でも20歳代の「必要度」の割合は94.3%と最も高い。

地域の国際化の必要性(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

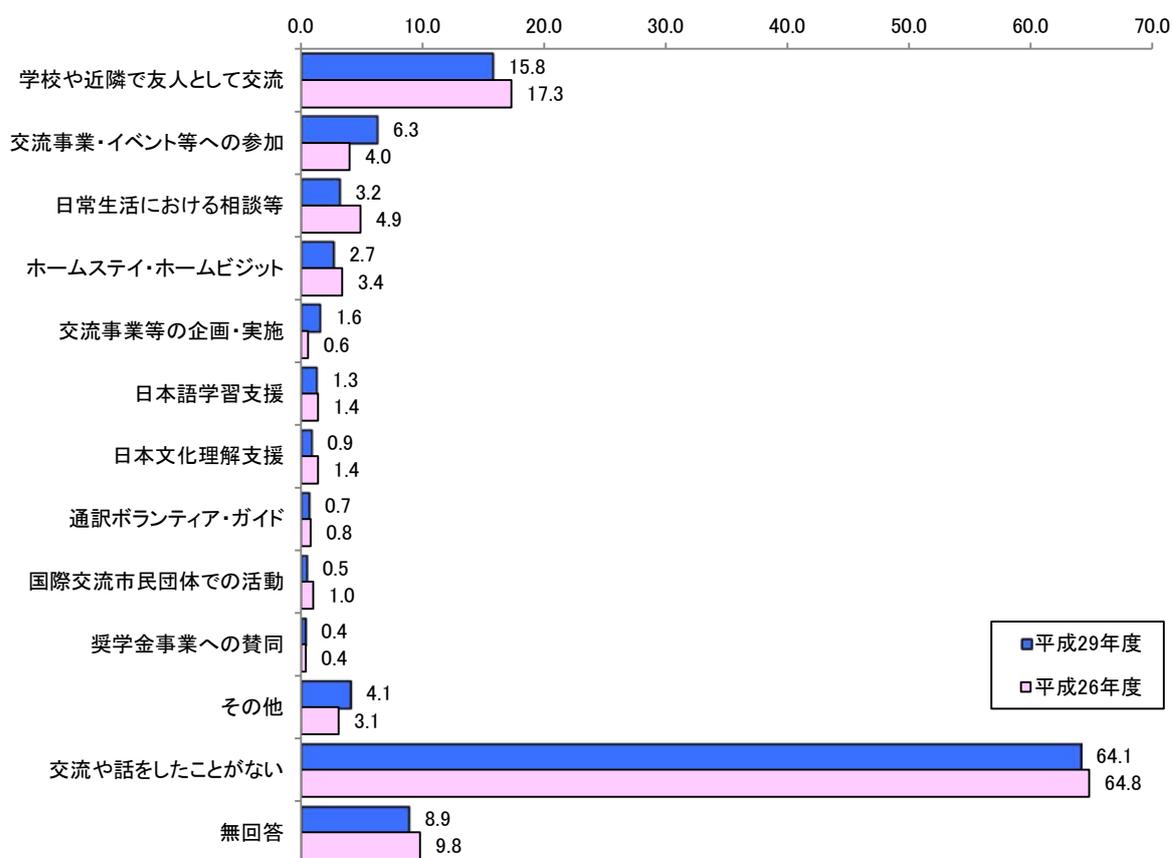
## (2) 外国籍県民との交流や支援の内容

問 23 あなたは観光客などの来日外国人や広島で暮らす外国籍県民と、交流や支援をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

### 外国籍県民と「交流や話をしたことがない」人が6割にのぼる

外国籍県民との交流や支援の内容について、「交流や話をしたことがない」と回答した人が64.1%と6割を超えている。交流内容としては、「学校や近隣で友人として交流」(15.8%)が最も高く、次いで「交流事業・イベント等へ参加」(6.3%)が続く。

前回調査と比較しても、明確な差は見られない。



(単位: %)

#### <属性による比較>

##### 【生活圏別】

すべての生活圏において「交流や話をしたことがない」と回答した割合が6割を超えており、差が見られない。

##### 【性別】

女性は「学校や近隣で友人として交流」と回答した割合が18.9%と、男性と比べて7.5ポイント高くなっている。

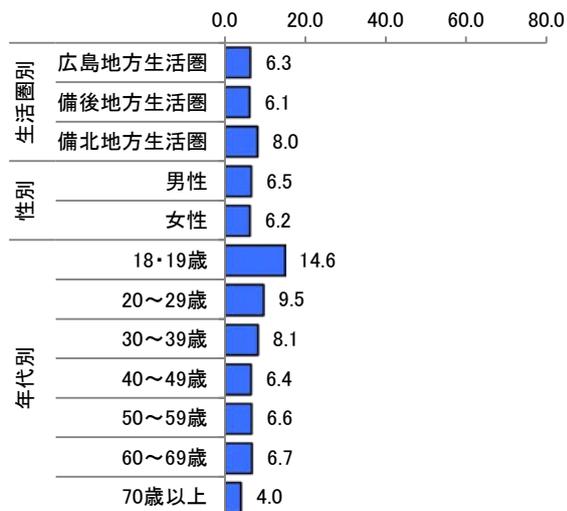
##### 【年代別】

20～30歳代は「学校や近隣で友人として交流」と回答した割合が3割を超えており、他の年代と比べて高い。

「交流や話をしたことがない」と回答した割合は40歳代以上の層で6割以上を占め、中でも60歳代は73.1%と最も高くなっている。

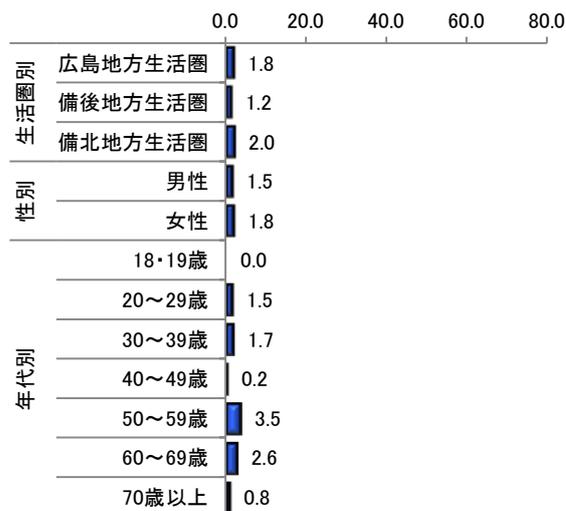
## 外国籍県民との交流や支援の内容(生活圏, 性, 年代別)

### 交流事業・イベント等への参加



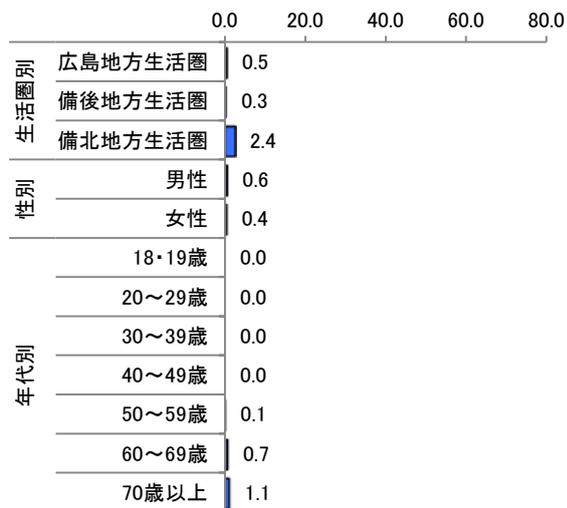
(単位: %)

### 交流事業等の企画・実施



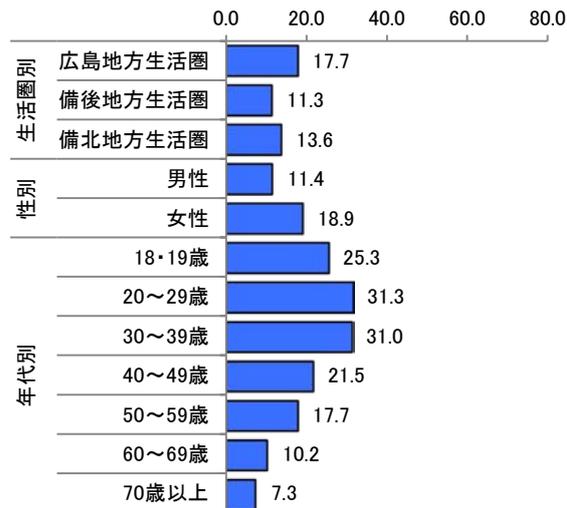
(単位: %)

### 国際交流市民団体での活動



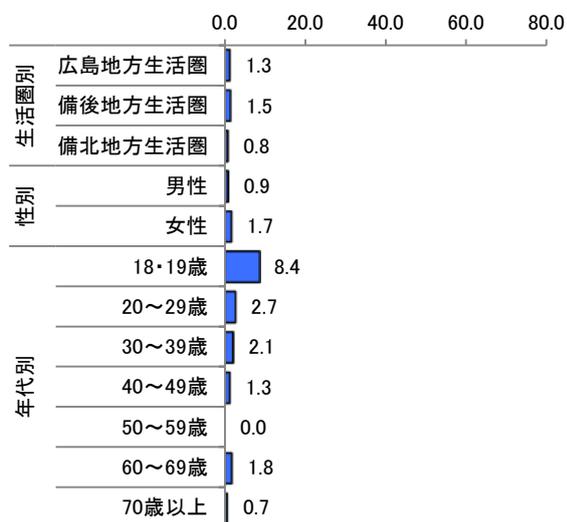
(単位: %)

### 学校や近隣で友人として交流



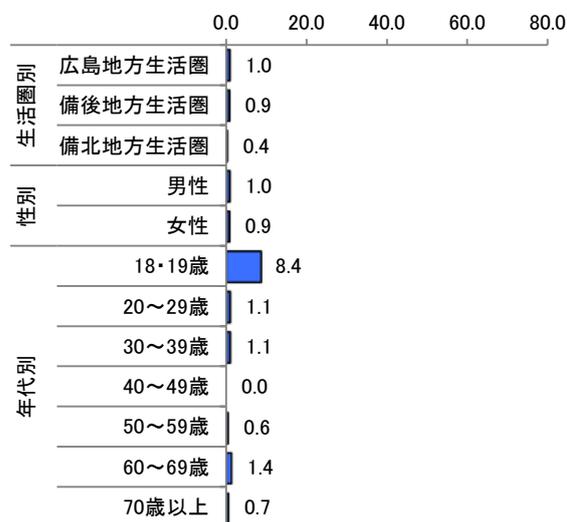
(単位: %)

### 日本語学習支援



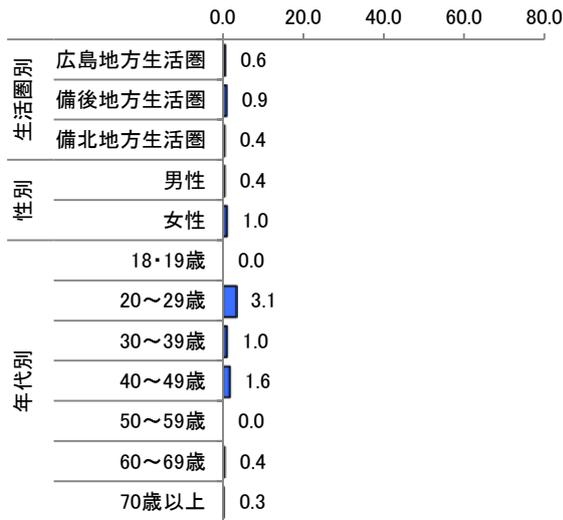
(単位: %)

### 日本文化理解支援



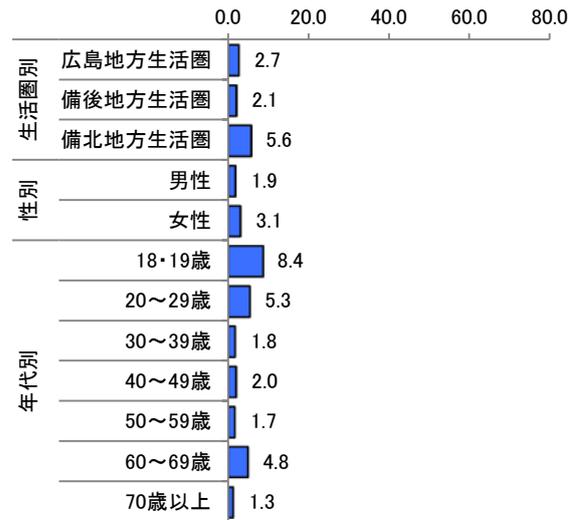
(単位: %)

通訳ボランティア・ガイド



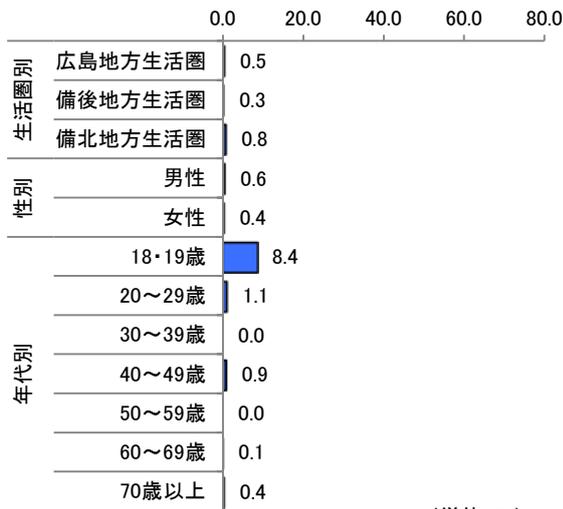
(単位: %)

ホームステイ・ホームビジット



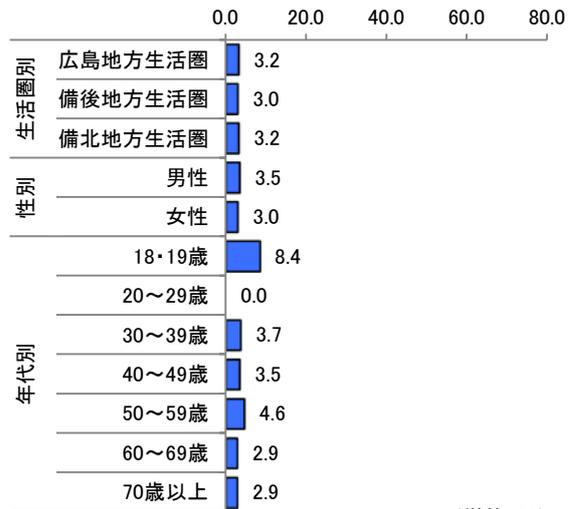
(単位: %)

奨学金事業への賛同



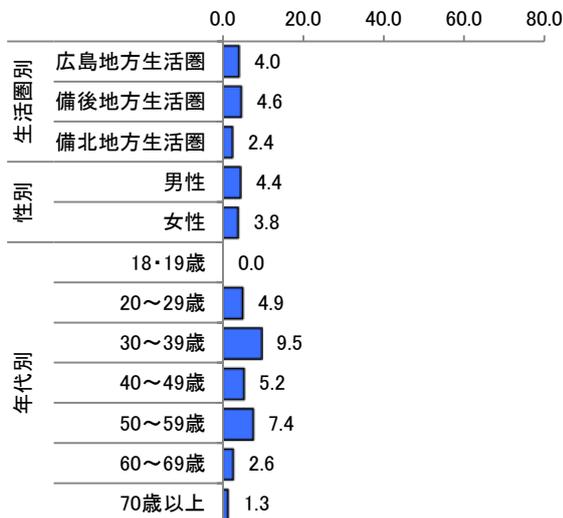
(単位: %)

日常生活における相談等



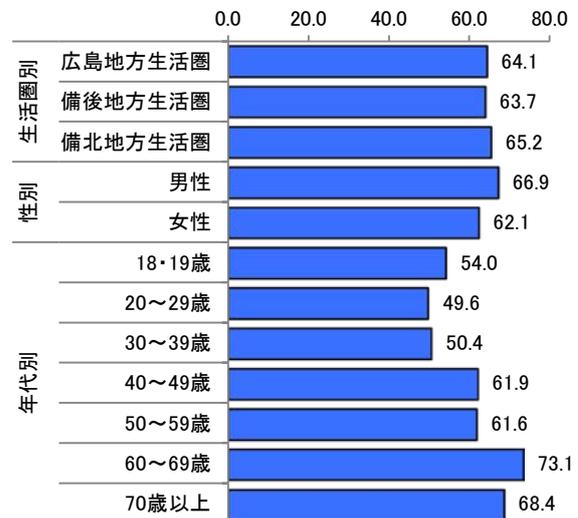
(単位: %)

その他



(単位: %)

交流や話をしたことがない



(単位: %)

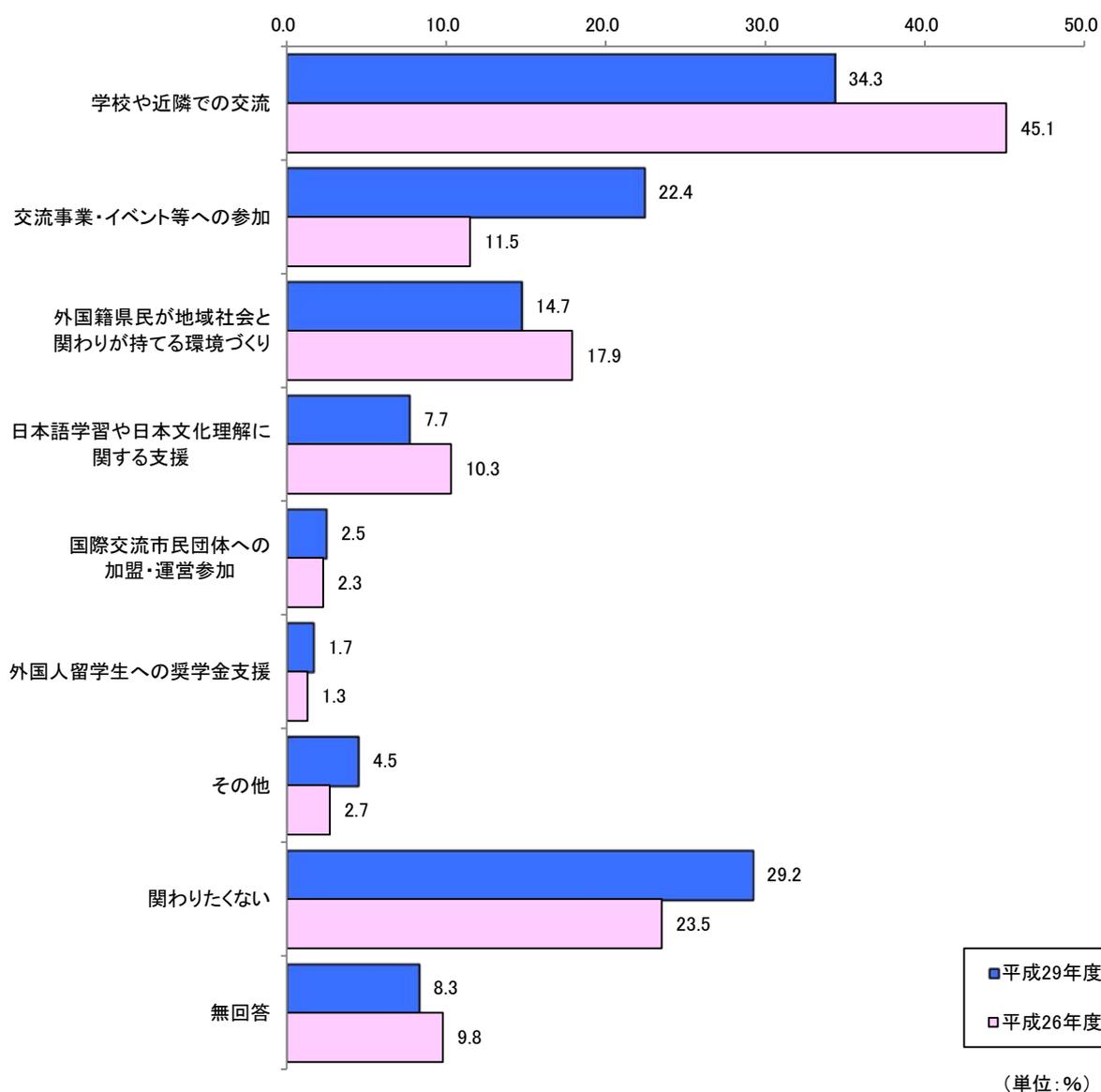
### (3) 地域の国際化を進めるための関わり

問 24 今後地域の国際化を進めるために、あなたはどのようなことに関わりたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A. )

地域の国際化を進めるための関わりとして、  
「近隣での交流」は減少、「イベントへの参加」が増加。  
「関わりたくない」も増加

地域の国際化を進めるための関わりとして、「学校や近隣での交流」と回答した割合が34.3%と最も高く、次いで「交流事業・イベント等への参加」(22.4%)、「外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり」(14.7%)となっている。

前回調査と比較すると、「交流事業・イベント等への参加」は10.9ポイント増加した一方で、「学校や近隣での交流」は10.8ポイント減少し、「関わりたくない」が5.7ポイント増加している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

広島地方生活圏は「学校や近隣での交流」(35.9%),「交流事業・イベント等への参加」(24.6%)と回答した割合が、備後地方生活圏と比べて5ポイント以上上回っている。

【性別】

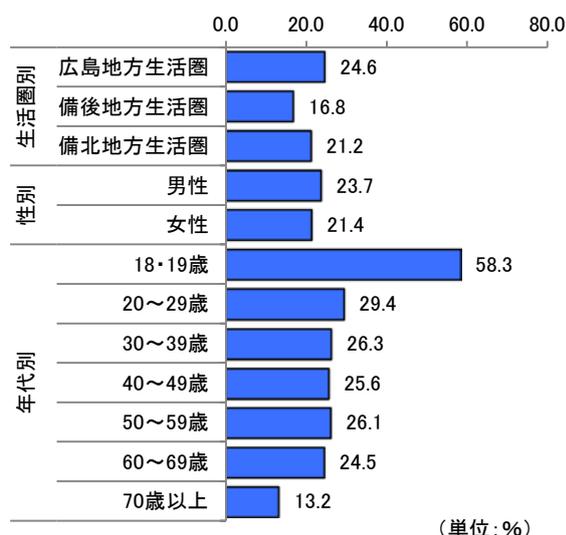
「学校や近隣での交流」と回答した割合は女性(36.9%)が男性と比べて6.3ポイント高く、「関わりたくない」と回答した割合は男性(32.3%)が女性と比べて5.4ポイント高い。

【年代別】

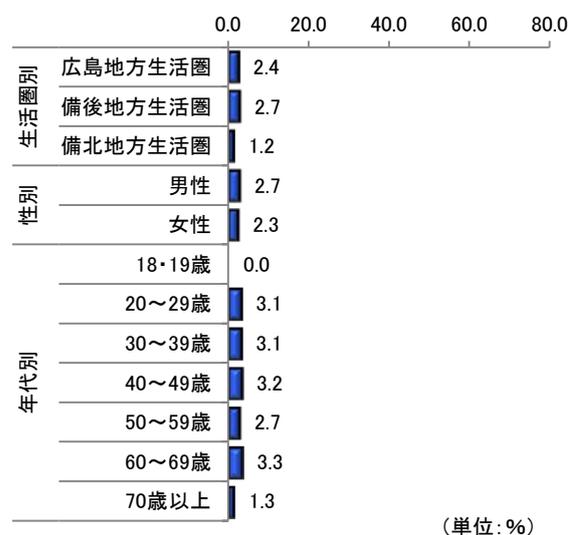
18・19歳は「交流事業・イベント等への参加」(58.3%),「学校や近隣での交流」(51.5%)と回答した割合が半数を超え高い。

地域の国際化を進めるための関わり(生活圏, 性, 年代別)

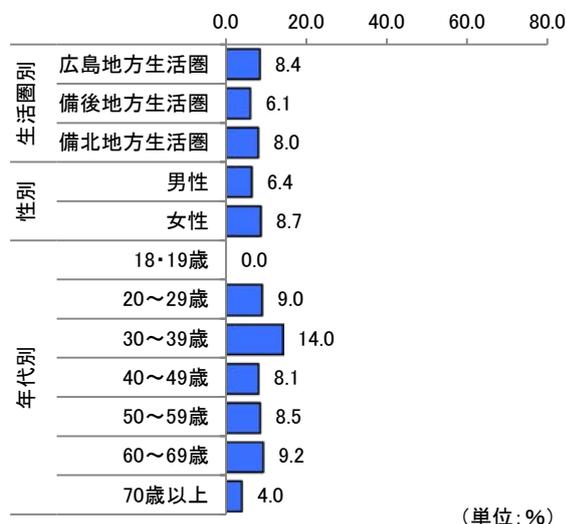
交流事業・イベント等への参加



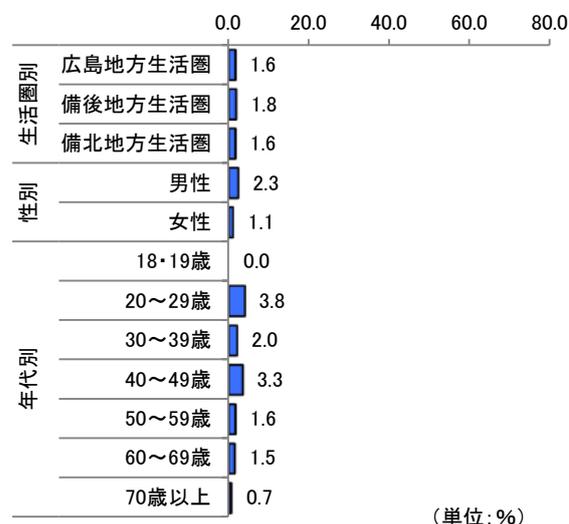
国際交流市民団体への加盟・運営参加



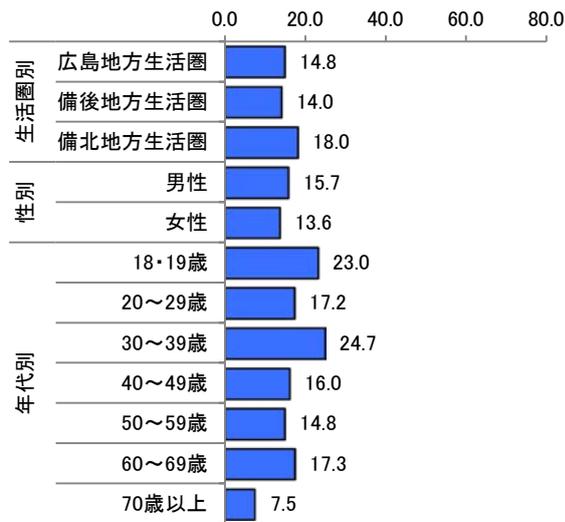
日本語学習や日本文化理解に関する支援



外国人留学生への奨学金支援

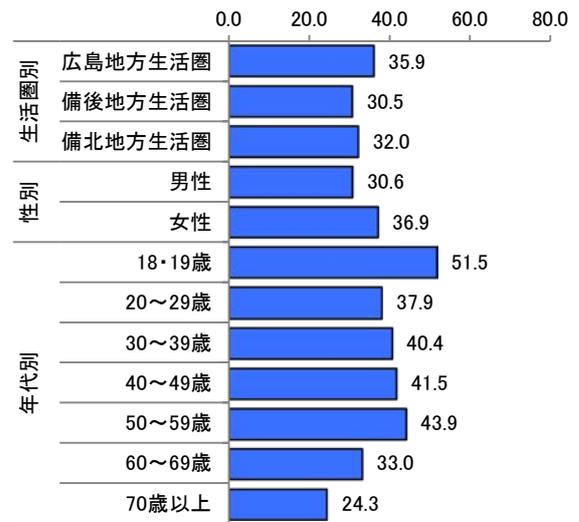


外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり



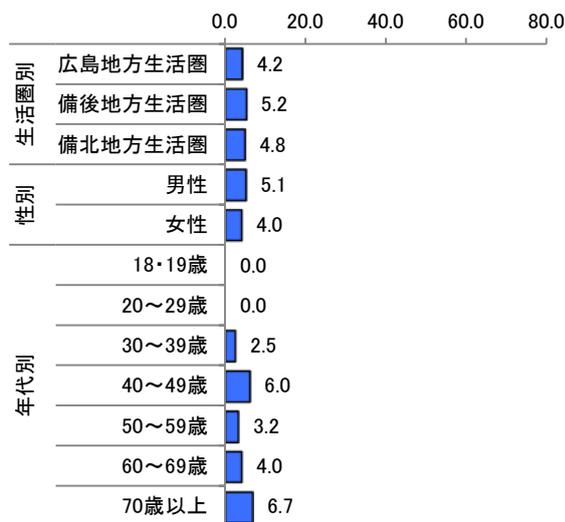
(単位: %)

学校や近隣での交流



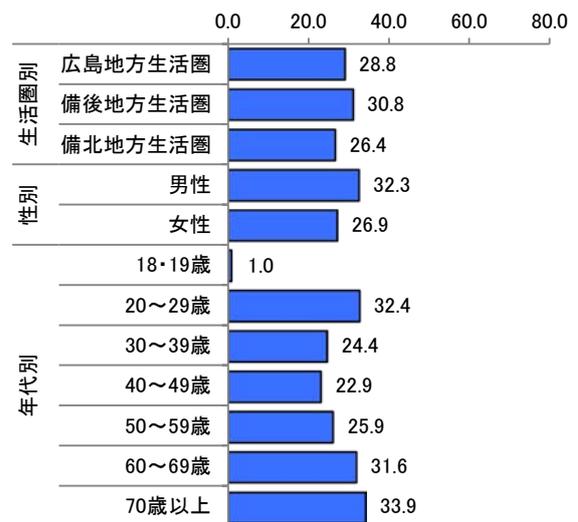
(単位: %)

その他



(単位: %)

関わりたくない



(単位: %)